

2013.09

創食世代のセカンドライフ

2012年度に都市生活研究所が行った世代研究では、昭和生まれを9つの世代に分類し「食・世代」と名付けた。本レポートでは、その中から、一般に団塊の世代と呼ばれる1947~49年生まれを含む「創食世代」(1946~50年生まれ)の既婚者に着目し、定年後の生活の実態や意識を探る研究から明らかになった、3つのニーズについて報告する。

■ やっとできた“自分のための時間”を満喫したい

- ・ 自分は頑張ってきたと7割が考えており、仕事や家事から解放された今、好きなことをして人生を楽しみたいと思っている。
- ・ 今後、お金をかけたいことは「レジャー」「趣味や習い事」「食事」「人との交流」

■ できるだけ長く“健康を維持”したい

- ・ 健康・美容の悩みは男女差が大きく、全般的に女性の方が悩む割合が高い。男性は「高血圧」、女性は「顔のシミ・しわ・たるみ」がトップ
- ・ 一度退職したものの、現在も仕事を行っている人は約27%。働く理由は、生活費のためだけでなく、「健康維持」「社会との接点」「やりがい」を挙げる人が約4割いる。

■ 家族とは干渉しすぎない“適度な距離”をとりたい

- ・ 「配偶者に自立して欲しい」と思う妻。「配偶者のいうことを聞き、邪魔にならないように」気を使う夫。
- ・ 子供には干渉せず、適度に手助けをしたいと思っている。
- ・ 孫の育児については、「自分の手が空いている時だけ孫の育児を手助けしたい」人が4割、「積極的に関わりたい」人は2割に満たない。

調査概要

■ 定性調査

調査時期：2012年11月

調査方法：デプスインタビュー

調査対象：一都三県在住 62~66歳男女

回答者数：21名 ※詳細は最終ページ参照

■ 定量調査

調査時期：2013年2月

調査方法：インターネット調査

調査対象：スクリーニング調査 一都三県在住 62~77歳男女 9,446名

本調査 一都三県在住 62~66歳既婚男女 1,084名

※詳細は最終ページ参照